

2021年2月1日

各位

株式会社リボミック
(コード番号: 4591 東証マザーズ)

滲出型加齢黄斑変性治療薬(RBM-007)の米国第2相 TOFU 試験 における 50%超の被験者登録のお知らせ

このたび、当社100%子会社の RIBOMIC USA Inc.が米国で進めているRBM-007第2相臨床試験(対象疾患:滲出型加齢黄斑変性、略称名:TOFU試験)につき、被験者の登録(*)が、予定組入総数(81名)の50%を超えましたので、お知らせいたします。

RIBOMIC USA Inc. CEO の Yusuf Ali は以下のようにコメントしています。「これは会社にとっての重要なマイルストーン達成であり、被験者、医師、その他パートナーからの大きなサポートを得て可能となりました。これまでのところ、RBM-007 は非常に優れた安全性を示しています。RBM-007 に関連する有害事象は、注射部位における軽微な炎症一件のみで、点眼薬の治療で1週間以内に治癒しました。RBM-007 の新規メカニズムは、滲出型加齢黄斑変性に苦しむ患者様に、新たな治療選択肢を提供するものと信じています」。

TOFU試験の実施にあたっては、COVID-19の影響による患者登録一時中断が生じており、また、今後変異種の出現などの不確実性についても払拭できないものの、治験施設数を増やすなどの取り組みを進め、COVID-19パンデミック前に計画された通り、TOFU試験の延長試験として実施中のRAMEN試験と同様、2021年末までに完了することを目標としております。

* COVID-19の影響等による早期脱落の若干例を含みます。

RBM-007について

線維芽細胞増殖因子2(FGF2)の機能を阻害するアプタマーで、加齢黄斑変性における血管新生と瘢痕形成を同時に抑制する新規な薬理作用を有することが非臨床試験で示されています。特に加齢黄斑変性における瘢痕形成は、失明の一因と考えられていますが、既存薬には瘢痕化を直接抑制する作用は確認されておらず、RBM-007は新規の治療法を提供できる可能性があります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先: 経営企画部03-3440-3745】

本リリースに記載されている医療用医薬品(開発品を含む)の情報は、当該製品を宣伝・広告するものではなく、投資家への情報開示を目的とするものであり、その製品化を保証するものではありません。